

2015

1
月号

●発行／一般社団法人
日本医療経営実践協会
(JMMPA)
〒101-0033 東京都千代田区神田岩本町
4-14
神田平成ビル7F
●編集／日本医療企画
●毎月1回発行

お問い合わせ先

一般社団法人 日本医療経営実践協会 事務局 TEL.03-5296-1933 FAX.03-5296-1934 <http://www.JMMPA.jp/>

第8回2級試験 83人合格、第13回3級試験 392人合格

2級の受験者、合格者とも 金融機関勤務者が最多に！

一般社団法人日本医療経営実践協会(代表理事・吉原健二)は10月26日(日)、第8回「医療経営士2級」資格認定試験を実施した。全国9会場で266人が受験し、83人が合格した。
また同日、第13回「医療経営士3級」資格認定試験も実施し、全国16会場で972人が受験し、392人が合格した。

第8回「医療経営士2級」資格認定試験

**2級合格者、累計399人に！
受験者の累計は1748人**

受験申込者294人

のうち266人が受験
(受験率90・5%)し、
83人が合格した。合格
率は、前回試験より3・
2ポイント高い31・2
%(第1・第2両分野
合格が条件)。

◆種別構成

(年齢別) (図1)

受験者、合格者とも
30歳以上39歳以下が最
多。特に合格者数は39
人で、合格者全体の半
数ちかく(47・0%)を
占めた。

(性別)

受験者の男女比率は、
男性221人(83・1
%)、女性45人(16・9
%)。女性の受験者が
過去平均値よりも3%
以上増えた。合格者数
は男性73人(88・0%)、
女性10人(12・0%)で
男性の合格率が高い。

(職業別) (図2)

受験者、合格者とも
金融機関勤務者が最
多。僅差で病医院勤務
者が続く。前回までは
病医院勤務者が最多で
あったが、今回初めて
金融機関勤務者の数が
これを上回る結果とな
った。

3級試験では金融機
関勤務者が半数以上を
占めるなど、以前から
この傾向が強かった。

3級合格者が2級に挑
戦するという流れのな
かで、今回ついに2級
試験でも金融機関勤務
者が多勢を占めること
となった。

金融機関では、団体
受験などにより組織的
に取り組むケースが多
いため、今後もこの傾
向が続くことが予想さ
れる。

第13回「医療経営士3級」資格認定試験

**3級合格者、累計4151人に！
受験者の累計は9322人**

受験申込者1153人

のうち972人が受
験(受験率84・3%)し、
392人が合格した。
これにより、受験者の
累計は9322人とな
った。合格者累計も
4151人に増え、医
療経営士の認知度の広
まりを感じさせる。

◆種別構成

(年齢別) (図3)

受験者、合格者とも
30歳以上39歳以下が最
多で、40歳以上49歳以
下が続く。この順位は、
過去累計と変わらな
かった。

(性別)

受験者の男女比率
は、男性830人(85・
4%)、女性142人
(14・6%)で、合格者
数の比率や過去累計で
もほぼ同様の数字が出
ている。

◆第8回「医療経営士2級」資格認定試験 結果概要

	受験申 込者数 (人)	受験者 数 (人)	合格者 数 (人)	合格率
両分野受験(3級取得者)	210	186	40	
第1分野受験 (第2分野合格証明書取得者)*1	10	9	8	
第2分野受験 (第1分野合格証明書取得者)*2	74	71	35	
合計	294	266	83	31.2%

*1:「3級」取得者で、第7回試験までに、「2級」第2分野合格証明書を取得した者
*2:「3級」取得者で、第7回試験までに、「2級」第1分野合格証明書を取得した者
※各項目の割合は、小数点第2位を四捨五入しているため合計が100にならない場合がある

◆第13回「医療経営士3級」資格認定試験 結果概要

	受験申 込者数 (人)	受験者数 (人)	合格者数 (人)	合格率
	1,153	972	392	40.3%

金融機関勤務者が合
格者数の43・1%を占
め、2位の病医院勤務
者に16・3ポイントの
差をつけた。一方、合
格率は病医院勤務者の
54・4%と比較し、金
融機関勤務者は32・8
%と低迷した。

■2015年度 資格認定試験日程

「医療経営士3級」
【第14回】2月15日(日) 【第15回】6月21日(日)
【第16回】10月25日(日)
「医療経営士2級」
【第9回】6月21日(日) 【第10回】10月25日(日)
「医療経営士1級」
【第3回】(予定)
第一次試験 9月6日(日) 第二次試験 12月6日(日)

図1 2級合格者の年齢別構成

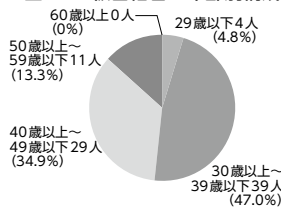


図2 2級合格者の職業別構成

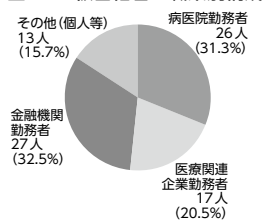


図3 3級合格者の年齢別構成

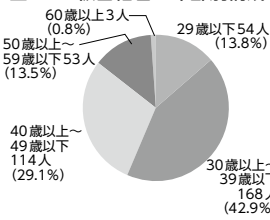
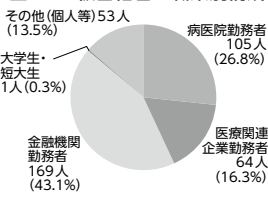


図4 3級合格者の職業別構成



2015年

一般社団法人日本医療経営実践協会

「新春講演会」&「新春の集い」

地方を変える、国を変える、医療を変える —— 地方創生の第一人者が語るこれからの医療・介護の方向性とは

●開催日

2015年2月7日(土)
第Ⅰ部: 15:00～16:30
第Ⅱ部: 17:00～19:00

●定員

第Ⅰ部: 160人
定員になり次第、締め切らせていただきます。

●参加料

第Ⅰ部: 会員:3,000円、一般:5,000円
第Ⅱ部: 会員限定:3,000円
※会員:医療経営士、介護福祉経営士。
申請中の方も参加可能です。

●会場

アルカディア市ヶ谷(私学会館)
東京都千代田区九段北4-2-25

【第Ⅰ部】新春講演会 15:00～16:30(開場14:30)

テーマ

「新しい地域づくりの中で求められる医療・介護の役割と責務」

穂坂 邦夫先生

(医療法人瑞穂会理事長、NPO法人地方自立政策研究所理事長、日本自治創造学会理事長、前埼玉県志木市市長)

【第Ⅱ部】新春の集い 17:00～19:00(開場16:30)

協会設立から4年半 1、2、3級の受験者累計1万1,125人！ 受験者の増加は、医療経営士の認知度向上の証

図1 3級資格認定試験 受験者数推移

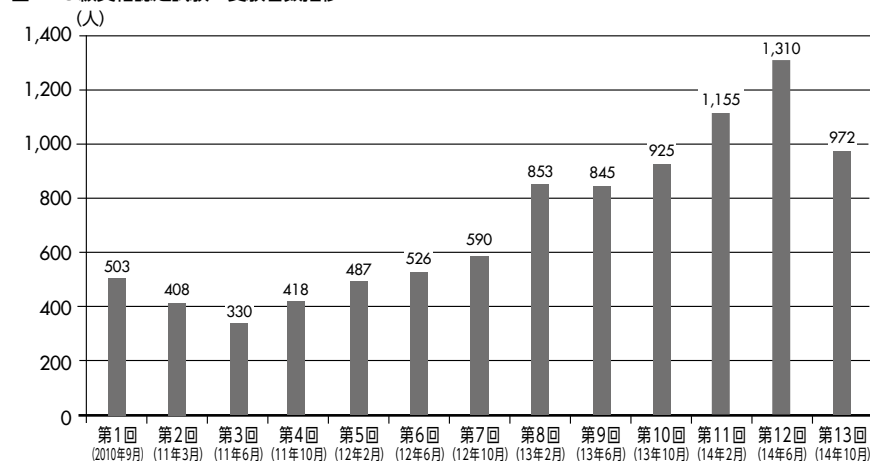
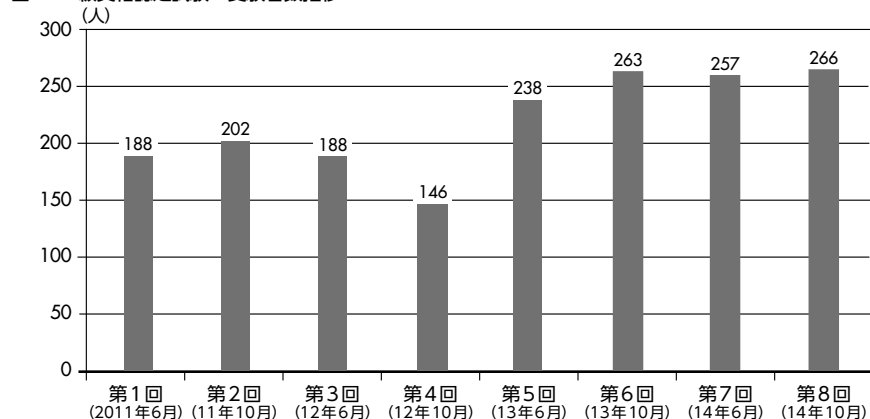


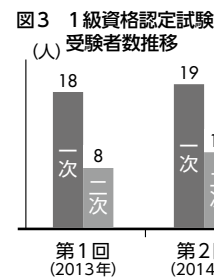
図2 2級資格認定試験 受験者数推移



2014年12月11日現在、日本医療経営実践協会の会員数は2228人。2010年7月の設立から4年半が経過し、医療機関のみならず、金融機関や医療関連企業など幅広い舞台で活躍する医療経営士が順調に増えている。

医療経営士の広がり、これを認めた認定試験の受験者数の推移から見てみよう。第1回3級試験(2010年9月)の受験者数は503人であったが、第13回試験(2014年10月)では972人と、約2倍に増加している(図1)。

2級試験については、第1回試験(2011年6月)の受験者数188人から、第8回試験(2014年10月)は266人と、約4割増となっている(図2)。



1級は、2013年に第1回試験を実施し、2014年が2回目の試験となった。まだ受験者数は少ないが、今後多くの方の挑戦を期待したい(図3)。

本協会では、受験者の増加が医療経営士の認知度向上につながることを考え、今後も幅広い普及活動を行っていくとともに、「経営の実践家を育成するため、全国大会や支部研究会などに注力していく予定だ。

支部NEWS 中国支部

第1回研究会・支部長講演「医療経営士に期待すること」を開催

医療経営士の人的つながりを、地域連合の実現に活かす！

中国支部は2014年11月20日(木)、第1回研究会として「医療経営士に期待すること～21世紀を生きる職業として」を広島県広島市で開催しました。講師は、日本医療経営実践協会中国支部支部長で医療法人清風会理事長の梶原四郎氏。県内だけでなく、他県からも参加者が集まりました。

梶原氏は、「激変する社会環境の中で、適切な医療を提供し続けるために何をすべきか。歴史を知って、次に生かすという姿勢が重要だ。医療法制定以来、さまざまな改革が行われ、現在では地域医療の概念が重視されている。2025年



初めての支部活動で、地元の医療経営士に新たなネットワークも誕生

問題の解決にあたり、わが法人のことだけを考えるのではなく、地域の中で何をすべきかを考えてほしい。今日は、皆さんから活発な意見をお聞きたい」と切り出しました。

自身が病院を開設した動機について、「納得できる人生を送りたい。職員が生き方や夢を実現できる場をつくりたい。そして次の世代へと広げたい」と語る梶原氏。そのためには、実践的な組織づくりが重要だと指摘します。

「当法人は、理事会の下に置いた管理本部が2つの病院を統括し、理事会での決定事項を推進させる役割を担う。また、管理職には年俸制を導入し、部長、課長はそれぞれ5年、3年の任期制をとるなど、実践的な組織運営を行っている。チーム医療を実践するにあたっては、職務による上下はあるが、職種による上下はない、と職員の意識を徹底させるなど、能力のある人が活躍できる環境づくりに配慮している」

この「職種による上下はない」という考え方は、組織図にも表れています。医療機関の多くが介護職を看護部に在籍させていますが、同法人は「介護科」として独立させ、看護科と対等な立場に置いている点が特徴的です。

梶原氏はさらに、「これからの病院は、全人的医療の提供の場であるべきだ。生活にも重点を置

き、生活空間の中で医療が受けられる場所にならなければいけない。その意味でも、介護の視点は重要だ」と、介護科独立の意味を語りました。

また、「常識を超える非常識」の重要性も指摘。「非常識が常識を超えることを恐れず、夢を描いてほしい。*将来、理事長になる、という意識で仕事をすると、物の見方や取り組みの結果も変わってくる。さらに、自院のことだけを考えるのではなく、地域全体を見る視野が必要だ。私は今後、医療機関の地域連合が重要になると考えている。医療連携だけでなく、スタッフのトレードなど、経営面も視野に入れた連合だ。医療経営士の人的つながりを生かし、地域連合の具体化も考えてほしい。医療経営士は、今後の医療界に必要な人材だ。研鑽を続けてほしい」と参加者を激励し、来場者の多くが力強くうなづいていました。

中国支部の第一歩となった今回の研究会。今後も地域医療に貢献できる人材の育成を目指し、積極的に活動していきますので、会員の皆様と一緒に盛り上がっていきましょう！



日本医療経営実践協会中国支部支部長 医療法人清風会理事長 梶原四郎氏

第3回「全国医療経営士実践研究大会」演題発表受賞者からのメッセージ

理想とする医療の実現に向けて
これからも組織改革に取り組む！

11月3日、全国大会2日目に行われた演題発表では10人の医療経営士が挑戦。「人材育成」をテーマにした安藤末生氏が最優秀賞、医師として初めて演題発表を行った園田幸生氏、雪害に関するBCP策定をテーマにした柳澤孝彰氏の2人が優秀賞に輝いた。受賞後の感想を職場の上長等のコメントとともに紹介する。



最優秀賞
安藤 末生氏

独立行政法人国立病院機構本部
職員厚生部職員課労務係
医療経営士2級

演題テーマ

「日本の医療を動かす
人材の育成を目指して
～その一歩としての職員勉強会～」

「人材育成」について取り組むことになったきっかけは、入職時に感じた教育制度への違和感です。私が採用された当時は研修制度がなく、辞令交付後に挨拶回りをして、即引き継ぎという状況でした。民間企業に勤める友人は1週間から1か月間の研修があり、その違いに不安や危機感を覚えたのです。

発表にあたっては、「経営人材育成 中村塾」の中村彰吾先生、「石井ゼミ番外編」で演題発表の予行演習を見ていただいた石井富美先生、発表資料のチェックをしてくれた職場の上司など、たくさんの方々から貴重なアドバイスをいただきました。

最優秀賞を受賞できたことで、私のように役職のない職員でも気負わずチャレンジする意義を教わったように思います。もちろん、今回の受賞がゴールではなく、今後も「日本の医療を動かす人材の育成」を使命として、努力していきます。

成果につなげた行動力に敬意を表します

同機構本部職員厚生部職員課長 宇都 洋一氏より

自らの信念に基づき目標に向かい、情熱をもって取り組んでいる姿は本当に素晴らしいと思います。本来の業務を抱えながらの取り組みですから、時にはうまくいかないこともあったでしょう。しかし、自らの行動でそれを打開し、結果として人を動かし、成果につなげていった行動力に敬意を表します。一緒に働く職員へのよい起爆剤になることを期待しつつ、微力ながら引き続き応援したいと思っています。



優秀賞
園田 幸生氏

医療法人社団高邦会福岡山王病院
消化器外科外科医長
医療経営士2級

演題テーマ

「よりよい病院にするための職場環境づくり
～TQM活動を通じて～」

医師になってから20年、現在は民間病院の外科医(勤務医)として働いています。

よりよい職場(病院)づくりを目指すTQM(Total Quality Management)委員会は、私が院長と事務長に提案して発足しました。各部門から20人以上の委員を選出し、院内の問題点や患者さんの意見等について議論を重ねるなかで、どんなに小さな問題でも協力して解決を目指そうとする雰囲気づくりが重要であると強く実感することができました。

病院経営を取り巻く環境は厳しさを増しています。その一方で、現場で働く医療スタッフにその意識は薄く、事務部門と診療部門との間に温度差を感じずにはいられません。病院にとって医師の存在は大きく、医師にこそマネジメントやリーダーシップが必要です。これからも患者を中心とした真のチーム医療の実現を目指し、組織改革に取り組んでいきます。

受賞は職員全員の励みになりました

同院事務部長 水城 優氏より

今回の受賞では、当院の取り組みも評価いただいたということで、園田医師のみならず職員全員の励みとなりました。TQM活動は事務(経営)サイドからの押し付けではなく、各職員が主体性をもって取り組み、知らず知らずのうちに問題解決能力が向上しています。活動をさらに活性化するためには、医療経営に関する幅広い知識が必要です。職員には医療経営士の資格取得を促していきたいと思っています。



優秀賞
柳澤 孝彰氏

医療法人花仁会秋父病院
総務課係長
診療情報管理兼病院経営管理
医療経営士2級

演題テーマ

「雪害をとおして考えるBCP策定
～雪国でない地域での雪害の状況報告と
BCP策定へ向けた活動報告第1報～」

協会の会報誌『理論と実践』の投稿欄に「当面の目標は全国大会の演題発表です」と宣言して以来、演題案が固まらず悩んでいました。ヒントを与えてくださったのは、中村塾の塾長である中村彰吾先生です。全国大会を振り返ると、中村先生以外にも当院の職員や家族など、多くの方に支えられ、まさに「感謝」の一言に尽きます。

発表にあたって最も工夫したことは、資料に動画を組み込んだことです。自分の考えをわかりやすく伝え、印象に残るプレゼンとするために、動画は最高のツールになると考えました。

次の目標は、当院の後輩に次回大会で演題発表をしてもらうことです。現在、資格取得から指導しています。また、自身の研究テーマであるBCP策定の続報も発表したいですね。多くの医療経営士とともにこの資格を盛り上げていきたいと考えています。

病院発展の立役者となることを期待！

同院事務部部长 山中 隆二氏より

日本は少子超高齢時代を迎え、さまざまな施策に取り組もうとしています。医療をはじめ社会保障の問題は国のあり方を左右すると言っても過言ではありません。そうしたなか、柳澤係長が医療経営士の資格に挑戦するとの話を聞き、私はその存在価値を認識しました。柳澤係長には、自院の発展のために学んだ医療経営に関する知識を多くの職員に広め、足腰の強い病院にする立役者となることを期待します。

第14回「医療経営士3級」資格認定試験

医療経営士 資格認定試験 日程

試験日 2015年

2/15(日)

- 受験エントリー期間
2014年 12月3日(水)～
2015年 1月7日(水)
- 受験料支払締切日
2015年 1月9日(金)

受験料	8,640円(税込) ※手数料別途
受験資格	年齢・学歴・国籍等の制約はありません
試験会場	札幌・仙台・東京・金沢・名古屋・大阪・福岡・鹿児島

試験科目	医療サービス分野・基礎 医療人としての基礎知識(医療界・医療機関の構造／医療関連産業論) 医療サービス分野・総合 医療史(医療法規・医療行政史／医療経営史／診療科目・診療技術の進化の歴史) 医療法規・医療行政の基礎知識、医療サービス概論(患者サービス論) 医療人としての倫理(生命倫理／医療倫理)
団体受験	◇受験者10名を超える場合、団体としてまとめてお申し込みできます。 ◇一定の条件を満たした場合、認定会場制度をご利用できます。※審査があります

受験エントリー締切間近!
1月7日(水)まで

受験エントリーは
ホームページから

協会事務局からのお知らせ

2015年「新春講演会」&「新春の集い」のご参加を受付中! 更新者ならびに等級変更、新規会員の「認定証」は1月中旬に発送いたします!

11月30日(日)に第2回「医療経営士1級」資格認定試験の第二次試験が終了しました。来年早々には「医療経営士1級」の資格認定者が誕生します。「医療経営士」の最上級資格認定者として、さまざまな場面で協会活動にかかわっていただくこととなりますので、会員の皆様、そして今後1級を目指す方はご注目ください。

さて、まずは2015年2月7日(土)に開催する「2014年「新春講演会」&「新春の集い」」のご案内です。「新春講演会」では、前埼玉県志木市市長の穂坂邦夫先生をお迎えし、「新しい地域づくりの中で求められる医療・介護の役割と責務」をテーマにご講演いただきます。そして会員限定の「新春の集い」では、さまざまな職場で活躍されている医療経営士の皆様との相互交流や意見交換などを通じ、セミナーや研究会活動とはまた一味違う自己研鑽の場となること請け合いです。2015年の会員活動のきっかけづくりとして、皆様のご参加をお待ちしております。なお、今回は初の試みとして、本協会の賛助会員である「一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会」が認定する「介護福祉経営士」にも参加いただく予定です。医療と介護の連携を進めるよい機会になると思います。

続いて、「認定証」発送のご案内です。2014年12月5日(金)締め切りの更新申請者ならびに12月19日(金)締め切りの等級変更者、正会員登録・入会申請者(更新・認定審査を通過された方)へ、2015年1月中旬に「認定証」を発送いたします。この「認定証」は、試験の際の身分証明書やセミナー・各種イベントの受講証などとしてご利用いただけますので、大切に保管・管理をお願いいたします。

最後に、2級合格者の等級変更手続きについてご案内申し上げます。10月の試験で2級に合格された3級会員の皆様は、合格証明書交付(合格証番号の発行日)より6か月間が等級変更登録期限となります。本協会ホームページより「個人正会員等級変更申請書」をダウンロードいただき、必要事項をご記入の上、協会事務局までご送付願います。なお、事務手数料として2,600円が必要となりますので、郵便局に備え付けの「払込取扱票」またはATMよりご入金いただき、振替払込請求書兼受領証を等級変更申請書の裏面へ貼付ください。ご不明な点がございましたら、協会までお問い合わせください。

それではまた次号でお会いいたしましょう。

日本医療経営実践協会

NEWS & TOPICS

第14回3級試験
エントリー受付中

2015年2月15日(日)に実施する第14回「医療経営士3級」資格認定試験の受験エントリーを開始した。

エントリーの締め切りは2015年1月7日(水)。受験料の入金締め切りは1月9日

第2回医療経営士1級試験の第二次試験終了

第2回医療経営士1級試験の第二次試験終了

第2回「医療経営士1級」資格認定試験の第二次試験が11月30日

(金)。受験料の入金をもって正式に受験申込が完了する。受験者が複数人いる場合は団体受験申込も受け付けており、受験料の請求、受験票、試験結果通知、合格証は受験者全員分を団体担当者へ送付する。

(日)に東京都内で実施された。当日は10名の受験者が「口頭試問(プレゼンテーション形式)」と「面接」試験に臨んだ。第二次試験の合格発表は12月24日(水)。資格認定審査要件を満たした合格者は、「医療経営士1級」として認定される。

2015年「新春講演会」&「新春の集い」を開催

2015年2月7日(土)に東京都千代田区の「アルカディア市谷」において、「新春講演会」および「新春の集い」を開催する。

の集い」を開催する。

第1部の「新春講演会」では、前埼玉県志木市市長であり任期中にさまざまな角度から「地方の改革」、「地域の再生」に取り組み、現在は医療法人瑞穂会理事長として地域医療の確立と人間の尊厳をより大切にしたい地域づくりを目指す穂坂邦夫先生を迎え、「新しい地域づくりの中で求められる医療・介護の役割と責務」をテーマにご講演いただく。また、第2部の「新春の集い」では参加を医療経営士と介護福祉経

MMSニュースを活用して、「医療経営士」の認知度アップにご協力ください!

会員サービスの一環として毎月発行しているMMSニュースを活用して、「医療経営士」の認知度アップにご協力くださる会員様を募集しております。職場やお取引先へMMSニュースをお配りいただくことで、ご自身の活動のアピール資料としても、ご活用いただけたと思います。

配布用のMMSニュースをご希望の方は下記のアドレスへ「MMSニュース希望」とタイトルをつけ、認定登録番号、お名前、御社名、所属部署、肩書き、送付先住所、電話番号、そして必要部数をご連絡ください(ご希望の部数につきましては、ご連絡をいただいた段階で調整させていただきます)。

皆様のご応募をお待ちしております!

お申し込み ▶ E-mail: info@jmma.jp

医療経営士資格更新対象者の更新延長措置について

2015年1月14日(水)に認定期間の満了を迎える会員の更新申請受付が本年12月5日(金)で終了したが、更新意思のある会

員に対して延長措置を行っている。延長措置を希望する更新対象会員は、協会事務局まで連絡いただきたい。なお、延長措置の対象者は、新規の認定カードの発送が2015年5月以降になる(発効日は1月15日(木))。2015年1月期限分年会費未納者への対応について 2015年1月14日(水)で年会費が期限となる会員の年会費支払が本年12月15日(金)で期限を迎えたが、継続意思のある会員に対して支払期限の延長措置を行っている。延長措置を希望する対象会員は、協会事務局まで連絡いただきたい。

地域包括ケア時代のキーパーソン



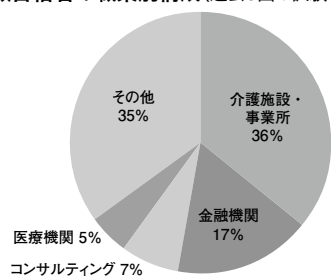
「介護福祉経営士」資格認定試験のご案内

— 介護の魅力と価値を高めるのはあなたです —

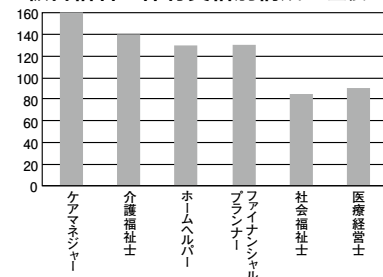
成長産業として注目を集める介護福祉業界で、2013年に誕生した「介護福祉経営士」。

過去5回の「介護福祉経営士2級」試験では703名が合格しました。そのうち金融機関・医療機関勤務者が約2割を占め、さらに、医療経営士とのダブルライセンス取得者は現在98人になりました。あなたも、医療経営と介護経営の双方に明るい人材となって、活躍の場を広げませんか?

2級合格者の職業別構成(過去5回の試験の累計)



2級合格者の保有資格別構成 ※重複あり



次回試験日程

第6回 2級 2015年 2月15日(日)

受験申込締切

2015年 1月27日(火)まで